

ハツと発達

指導・支援の工夫編

発達障がい教室では、小・中学校、高等学校等の通常の学級や通級による指導を担当する先生、特別支援教育の経験が浅い先生に向けて、発達障がいのある児童生徒への指導や支援の取組のヒントとなるよう「発達障がい教室だより『ハツと発達』」を発行しました。

登場人物紹介



ぷりまる先生

通常の学級の担任 ベテラン
特別支援教育についてまだまだ勉強中



円山くまお先生

今年採用になった先生
通常の学級を担当している



発達ノビ子先生

特別支援教育コーディネーター
経験豊富なベテラン

① 困ったねー

クラスのDさんが、口頭で指示をしてもなかなか理解できないんだ。

何か困っている…？

② みんなが聞いている時にノートを書いたり、教科書の別のところを見ていたりして、指示をしてもみんなと一緒に活動に取り組めないですよ。

ちょっと見に行ってみよう

何が原因なのかな？
なぜみんなとずれるのかな？

③ 今は何に取り組めばいいの？

めあて
話をしっかり聞こう！

必要があればメモをとってもかまいません

日の活動について説明をするのでよく聞いてください

じっくり考えて取り組むことが大切です

分からないとかあれば辞書調べても良いです
インターネット

④ ぷりまる先生、Dさんが分かりやすくなるよう伝え方を工夫することができますよ。

伝え方の工夫でどうにかなるの!?
Dさんは聞いて理解することが難しいと思ってた!!

⑤ 伝え方の工夫の例 参考:「イラストで見る学習のUD（ユニバーサルデザイン）化の工夫・手段」新潟県立教育センター

活動を明確にする（一指示一活動）

一つの指示による行動が終わってから次の指示を出す

情報を視覚的に示して伝える

指示を伝えるのは、できるだけシンプルで具体だといいいんだね。

なるほど!!今何をするのかを分かるように伝えることが重要なんだね。

